

# JIS

X 0131  
(ISO/IEC 11411)

## ソフトウェアの状態遷移の 構成及びその表記方法

JIS X 0131-1995

(ISO/IEC 11411:1995)

(2000 確認)

(2005 確認)

平成7年10月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣            制定：平成 7.10.1

官 報 公 示：平成 7.10.2

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# ソフトウェアの状態遷移の構成及びその表記方法

X 0131-1995

(ISO/IEC 11411:1995)

## Information technology—Representation for human communication of state transition of software

### 日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1995年に初版として発行されたISO/IEC 11411 (Information technology— Representation for human communication of state transition of software) を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

**0. はじめに** ある分野のソフトウェアは、状態遷移図及び状態遷移表で表現することができる。これらのソフトウェアは、遷移によってその状態を変化させる。ある条件が満足されたときに、状態から状態への該当する遷移が実行される。条件は、データ入力をきっかけに評価される。データは、次に示すいろいろな形をとることができる。

- (1) 信号
- (2) コマンド
- (3) メッセージ
- (4) トークン、フラグ
- (5) 文字、単語
- (6) レコード、など

この規格は、ソフトウェアの状態遷移に関して利用者が意思を伝達するための最小限の概念及び記号について記述する。

この規格では、次の定義を行う。

- (a) ソフトウェアの状態遷移を構成する基本構成要素及びその意味概念
- (b) 状態遷移の基本構成要素の表記法
- (c) 状態遷移の基本構成要素の組合せ方

**1. 適用範囲** この規格は、ここで定義する図表及び記号がソフトウェアの機能及び遷移を表現する上で役立つとともに、利用者間の意思の伝達を改善する上でも役立つという考え方に基づいている。この規格の適用領域は、ソフトウェアの要求分析及び設計における開発作業、意思の伝達、レビューなどである。

この規格は、次のソフトウェアの分野で役立つ。

- (1) 対話型のソフトウェア—画面上での機能及び遷移の表現の記述
- (2) データ通信ソフトウェア—通信プロトコル及び通信動作の記述
- (3) 言語及びコマンド—構文の記述

## 2. 定義